暴風警報，暴風雪警報，特別警報に

おける対応について

■暴風警報，暴風雪警報，特別警報について

①登校前に，東三河南部に，暴風警報・暴風雪警報・特別警報が発表されている場合

　●警報が解除された時刻により，下のような始業時刻になります。（変更されました）

　　ア　**６時００分までに解除**になった場合は，平常通り授業を行います。

　　イ　**６時００分を過ぎても解除されないときは，当日は授業を行いません。**

　　※解除時刻は，テレビ等でご確認ください。

②登校後に，東三河南部に，暴風警報，暴風雪警報，特別警報が発表された場合

　●授業を中止し，各教室にて引き取りを行います。

　●保護者は，自らの安全が確保でき，引き取りが可能になったら迎えに来てください。車は，東門から入り，運動場に駐車し，北門から出るようにします。徒歩，自転車で来る場合は，正門と西通用門を利用できます。（資料参照）

●危険と認められる状況がある場合は，しばらくの間全校児童を学校に留め置きます。

|  |
| --- |
| ※学校よりメールで対応についての連絡をしますので，それまでは自宅等で待  機していただきます。また，メール配信前のお迎えはご遠慮ください。  ※児童クラブは原則開設しません。ご注意ください |

③大雨・洪水・大雪警報発表の場合

●気象情報を把握し，授業の継続または中止を決定し，メールにてお知らせします。

●通学路が危険と認められるときは，保護者の引き取りをお願いすることもありま

すので，ご了承ください。

■「引き取りカード」を作成しています（小学校６年間，利用します）

　●別紙「引き取りカード（学校保管用）」を作成し，学校にご提出ください。

　●別紙「引き取りカード（家庭保管用）」を作成し，ご家庭で保管してください。

　※変更が生じた場合には，その都度，担任までご連絡の上，修正をしてください。

※非常時における引き取り人は，保護者または親類にしてください。友人や隣人などは記入しないようお願いします。



NEW!

南海トラフ地震臨時情報

が発表された場合

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 情報名 | キーワード | 情報発表条件 | 学校の対応 |
| 南海トラフ地震臨時情報 | 調査中 | 南海トラフ沿いでマグニチュード6.8以上の地震が発生するなど、普段と異なる現象が観測された場合 | ・続報に注意し、また後発地震の発生に留意しつつ、通常通り教育活動を続ける。  ・速やかに日ごろからの地震への備え、発生時の対応について再確認する。  ・校外学習中の場合は直ちに安全な場所に移動し、帰校に向け必要な情報を収集する。安全に配慮し帰校する。 |
| 巨大地震  警戒 | 想定震源域内のプレート境界において、マグニチュード8.0以上の地震が起き、次の巨大地震に対して警戒が必要とされた場合 | ・保護者の緊急連絡先の再確認、児童の保護の方法、避難経路、避難誘導実施担当者等の再確認、施設の防災点検など、後発地震の発生に備える対応を行う。  ・土砂災害などにより後発地震発生後では避難が間に合わないと校長が判断する場合は、児童の引き渡し等を適宜実施する。 |
| 巨大地震  注意 | 想定震源域の周辺でマグニチュード7.0以上の地震が起きたり、想定震源域内のプレート境界において、通常と異なるゆっくりすべりが発生したりして、その後の巨大地震に注意が必要とされた場合 | 「巨大地震警戒」と同様の対応とする。 |
| 調査終了 | （巨大地震警戒）、（巨大地震注意）のいずれにも当てはまらないと判断された場合 | 平常通りの教育活動を継続する。 |
| 南海トラフ地震関連  解説情報 | | ― | ― |

※ただし、緊急を要する場合は、この限りではない。また、校外学習中は、「校外安全マニュアル」等に記載された対応を行う。

**緊急時における児童の登下校について**

■登校前に愛知県にJアラート情報が発信された場合

●ミサイルが日本領土・領海（内・外）に落下した場合は，自宅待機となります。

　自宅待機の解除・継続，臨時休校等の対応については，メールで連絡します。

●日本の領土・領海内にミサイルが落下したが，愛知県にJアラートの情報が発信されなかった場合は，原則として平常通り授業を行います。

■その他

上記以外でも，緊急事態が発生した場合や登校が危険な場合（例：竜巻・雷・大雨・大雪など）は，学校メールで連絡させていただきますが，保護者の判断で登校させてください。その場合は，遅刻扱いにしません。